



人と企業に選ばれるまちを目指す

市長戦略 2.0 最前線

戦略は実感へ

▶市長戦略の
詳細はこちら



☎戦略推進課 995-1804

改革の4年から、共に作る4年へ。

市長として2期目の最初の年度が始まった4月、市の新たな経営指針となる「市長戦略2.0」を策定。これからの4年間で裾野市をどのようなまちへと導くのか、戦略に込めた想いと具体的な展望について、市長に話を聞きました。

「市長戦略2.0」が策定されました。前市長戦略を推進する中で、特に手応えを感じた成果を教えてください。

市長▶「日本一市民目線の市役所を作る」というミッションを掲げ、1期目は組織改革に注力しました。一番の手応えは「窓口改革」です。「待たせない」「手続きの工数を減らす」取り組みは、市民の皆さんから多くの評価をいただきました。また、ハード面では2つの公園開設や、アイリスオーヤマ株式会社をはじめとする企業誘致を成功させ、一般財源の確保に努めました。特にふるさと納税は、就任時の約1億円からおよそ6倍の5.7億円まで伸ばすことができました。

積み残した課題はありますか。

市長▶市民の皆さんから切実な声をいただいている「医療・介護の充実」ですね。特に裾野赤十字病院の充実は、

今回2.0の重点項目として明確に位置付けました。また、美化センターの更新も4年間で道筋をつけるべき課題です。これらは市民生活に直結する必須事項として、しっかりと課題解決していきたいと考えています。

前市長戦略からの最大の進化ポイントは何でしょうか。

市長▶最大の進化は、綱領に「共創による変革の加速」を加えたことです。市民、地域企業、立地企業の皆さんと「共に創る」ことに重点を置きます。皆さんの意見を聞き、ニーズに合わせてまちを良くしていく、そのプロセスを大切にしていきます。

この戦略を完遂する2029年、裾野市はどのように変わっていますか。

市長▶理想は立地企業が増え、税収が増えていること。そして、その増えた税収によって着実に市政運営を行う財政基盤ができていくことです。結果として、市民の皆さんのまちに対する満足度がアップしている状態を目指します。



すくすく
成長中!

裾野っ子

市内に住んでいる
3歳0カ月までの
子ども紹介!

■誕生月の2カ月前までに右記の2次元コードを読み取り、オンラインフォームから申し込んでください。



ゆうせい
庄司 悠成さん
2歳8カ月
本茶



はのん
紺野 晴暖さん
2歳8カ月
石脇



ゆうあ
松本 結愛さん
2歳8カ月
千福が丘三丁目



るとあ
浦野 楼兎愛さん
2歳8カ月
麦塚



とうあ
五十嵐 斗彩さん
2歳10カ月
御宿



5月図書館だより

開館時間／火・水・土・日曜日 9時～17時／木・金曜日 9時～19時
休館日／7日(木)・11日(月)・18日(月)・25日(月)・28日(木)



📍鈴木図書館 992-2342 📍文化センター図書室 993-9305

新刊紹介



一般書

小説 映画ドラえもん
新・のび太の海底鬼岩城

原作：藤子・F・不二雄
著・脚本：村山 功
出版社：あすなる書房

夏休みに海底キャンプを楽しむのび太たちは、海底人・エルと出会い、未知の世界へ足を踏み入れます。原作から43年の時を経てついにリメイクされた今作。ロマンあふれる海の世界、そして迫力ある戦いを小説でも楽しめます。



児童書

アナトールとおもちゃ屋さん

作：イブ・タイタス
絵：ポール・ガルドン
訳：石津 ちひろ
出版社：好学社

チーズ工場で味見係として働くねずみのアナトール。ある日、愛する家族がおもちゃ屋の悪党にさらわれ、見世物にされてしまいます。家族を救い出すため、賢いアナトールが思いついた驚きの作戦とは…？



行事予定

鈴木図書館

親子おはなし広場

🕒12日(火) 10時30分～11時

「ベビー&キッズタイム」

🕒13日(水) 9時～12時

「子ども読書の日」おはなし会

🕒16日(土) 11時～11時45分

初心者のための読み聞かせ講座

🕒6月13日(土) 13時30分～15時

📍市内外を問わず読み聞かせボランティアで活動中の人・読み聞かせに興味のある人

🗨まるchan (稲葉優子)

📍20人 ※先着順

📍オンライン受付または
窓口▶5月12日(火)～



文化センター図書室

「子ども読書の日」おはなし会

大型絵本などの読み聞かせや簡単な
工作を行います。

🕒9日(土) 11時～11時40分

📍文化センター 3階 33会議室

親子おはなしの会

🕒19日(火) 10時30分～10時50分

人 すそのびと

Susonobito No.82

副市長に就任

赤堀 健之さん
60歳



4月1日(水)、副市長に就任した赤堀さん。静岡県藤枝市出身で、昭和63年に静岡県職員として採用され、医療・土木・総務・教育など行政組織の根幹を支える業務に長く従事しました。静岡県こども・若者政策部長を経て、4月から裾野市副市長として活躍しています。「強く印象に残っている仕事は、ファルマバレープロジェクトに携わり、がんセンターと連携しながら医療関連産業の推進や企業支援に取り組んだことです。

大学関係者や企業経営者と活発な議論をし、非常に刺激的で充実した3年間でした」と話す赤堀さん。

「これまでの豊富な行政経験と静岡県との強力なパイプを生かし、裾野市副市長としてこどもまんなか社会の実現や社会基盤の整備、産業の街としての企業誘致・スタートアップ支援などに注力したいです」と意気込みを話しました。

事業が誰のためになるのか、市民の皆さんの生活にどう貢献できるかという視点と、組織を一つのバクトルに合わせるチームでの仕事を重視する姿勢を大事にしたいという赤堀さん。

体を動かすのが好きで、現在も子どものころから続けているサッカーを楽しんでいるそうです。

